

2017年度

「探究するこども 協同するこども」  
—カリキュラム・マネジメントを通して—

探究するこどもとは、一体どのような姿を見せるのか。  
協同するこどもとは、どのように育まれていくのか。  
目の前の子どもの育ちを具体的に語ることで、  
一人一人の実践者がカリキュラムをマネジメントしていく営みについて、  
教育要領の改訂も踏まえて提案しました。

資質・能力＝  
自分の中にあるものを引き出して使うもの

○資質・能力  
対象が変わっても機能することが望ましい心の働き

資質—子どもが学んでいくために  
潜在的にもっている力  
能力—実際に学ぶことで、子ども自らが育て、  
自覚的に活用できるようになった力  
(国立教育政策研究所「資質・能力」より)

「探究するこども 協同するこども」  
—カリキュラム・マネジメントを通して—

- 1 | 探究するこども 協同するこども とは
- 2 | 資質・能力とは
- 3 | 新教育要領におけるカリキュラム・マネジメントの重要性
- 4 | 伝えたいのは「教育はこどもスタートだ！」
- 5 | 「幼児期の終わりまでに育って欲しい姿」
- 6 | 初等中等教育の一貫した学びの充実

改訂の基本的な考え方

○小学校以降の指導要領と教育理念を一貫  
※未来社会を切り拓くための資質・能力を育成

- ①資質・能力を育む「主体的・対話的で深い学び」  
教科横断的な視点の必要性  
—教育内容や活動を増やして実践するのではない
- ②カリキュラム・マネジメントの確立

(文部科学省HP「改訂のポイント」より)

「探究するこども 協同するこども」

共通の目的の中で 自分の課題、めあてをもって  
その上で 他者の意見や考えを聞いて  
自分の考えを再構成し課題解決に向かうこども



幼児教育における  
カリキュラム・マネジメントの重要性

- 教科書のような主たる教材を用いず  
環境を通して行う教育を基本としていること
- すべての教職員一人一人が  
カリキュラムの計画 (P: プラン)  
実施 (D: ドウ)  
評価 (C: チェック)  
改善 (A: アクション)  
いわゆる「PDCAサイクル」を「主体として」動かしていく